

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

JPA 58-172748

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 58172748 A

(43) Date of publication of application: 11.10.83

(51) Int. Cl.

G06F 7/28

(21) Application number: 57055570

(71) Applicant: TOSHIBA CORP

(22) Date of filing: 02.04.82

(72) Inventor: YAZAWA MIWAKO

(54) RETRIEVING DEVICE

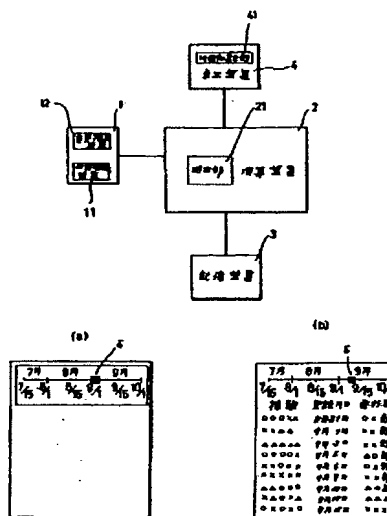
desired material.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

PURPOSE: To facilitate the retrieval of a desired material and to shorten the time of the retrieval, by providing a specifying means for positioning on a time axis, and retrieving a material in a storage means on the basis of the specified position on the time axis.

CONSTITUTION: The input device 1 of a retrieving device is provided with the position specifying device 11 using a light pen, etc., for position specification and a change indicating device 12 for changing the scale of the time axis, and an arithmetic device 2 provided with a collating device 21 is connected to the input device 1. Further, a display 4 provided with a storage device 3 storing materials and a time-axis display part 41 is connected to the device 2. The time-axis display part 41 is provided with a cursor 5, which is used as a pointer for accessing a material registered in the storage device 3. When the material is retrieved, a data is displayed at the time-axis display part 41 according to the display indication of the time axis from the input device 1. The cursor 5 is moved over a look at the display to display the registered material on the display 4, thereby shortening the retrieval time of the



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—172748

⑪ Int. Cl.³
G 06 F 7/28

識別記号

庁内整理番号
7313—5B

⑬ 公開 昭和58年(1983)10月11日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 検索装置

川崎市幸区小向東芝町1 東京芝
浦電気株式会社総合研究所内

⑯ 特 願 昭57—55570

⑰ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

⑱ 出 願 昭57(1982)4月2日

川崎市幸区堀川町72番地

⑲ 発 明 者 矢沢美和子

⑳ 代 理 人 弁理士 小宮幸一 外1名

明 細 書

1. 発明の名称 検索装置

2. 特許請求の範囲

(1) 入力手段と、複数の資料を記憶した記憶装置と、上記入力手段により指定される時間軸を表示する時間軸表示部を有する表示手段と、上記時間軸上の位置を指定する位置指定手段と、この位置指定手段にて指定された時間軸上の位置よりこれに対応する上記記憶手段の資料を検索する手段とを具備したことを特徴とする検索装置。

(2) 上記記憶手段より資料を検索する手段は検索資料を上記表示部に表示させる機能を有することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の検索装置。

(3) 上記入力手段は時間軸の尺度の変更を指示する変更指示手段を有することを特徴とする特許請求の範囲第1項又は第2項記載の検索装置。

3. 発明の詳細な説明

[発明の属する技術分野]

この発明はおおよその日付により所望の資料を検索し得る検索装置に関する。

[従来技術とその問題点]

従来、所望の資料を検索するには資料の題名あるいは整理番号などから手作業にて該当するファイルを捜し出し、所望資料を取り出す方法が一般的であり、一方フロッピーディスクなどの記憶媒体に資料が蓄積されている場合は所望の資料の題名などの情報をキーボードなどより入力し検索を行なうようにしている。

ところが、これらの場合資料の題名あるいは整理番号などを忘れたり、あるいは資料の保管場所を忘れたりすると該当資料を捜し出すのに多大な手間と時間を要し、特に後者の場合入力情報が不正確だと資料の検索が全く不可能になる欠点があった。

[発明の目的]

この発明は上記欠点を除去するためなされたものでおおよその日付をもとに所望資料の検索を行なうことができる検索装置を提供することを目的

とする。

〔発明の概要〕

入力手段により時間軸を指定しこれを時間軸表示部に表示するとともに位置指定手段にて上記時間軸上の位置を指定し、この位置指定によりこれに対応する資料を記憶手段より検索するようにしている。

〔発明の効果〕

時間軸を用いて資料の検索を行なうようにしているのでおおよその日付程度で所望資料の検索を簡単に行なうことができる。

〔発明の実施例〕

以下この発明の一実施例を図面に従い説明する。

第1図において1は資料の検索を指示する例えばキーボードからなる入力装置で、この入力装置1は位置指定を行なうための例えばライトペンからなる位置指定装置11および時間軸の尺度を変更するための例えばファンクションキーからなる変更指示装置12を有している。

また、この入力装置1に演算装置2を接続し、こ

この状態で9月初旬頃の資料を検索するには例えば位置指定装置11により第2図(a)に示すように時間軸の「9/1」付近へカーソル⁵⁾を移動し位置指定し、次いで第2図(b)に示すように「9/10」頃に相当する付近へカーソル⁵⁾を移動し位置指定する。すると、照合部21にて9月1日～9月10日頃までに登録された資料が記憶装置3より検索され、この資料リストが第2図(b)に示すように表示装置4に表示される。

そして、この表示中に該当資料が存在するとき例えばカーソルを該当資料の標題部分へ移動し指定すると対応する資料のみが表示装置4に表示されることになる。

この場合、資料リストを表示する代わりに例えば照合部21にて検索された資料群をバラバラめくるように表示装置4に表示したり、あるいは見出しを表示装置4に表示するようにして該当資料を検索することも可能である。

次にこれに続けて5月末の資料を検索する場合を考える。この場合はカーソル⁵⁾を時間軸の左端に

の演算装置2に資料を蓄積するメモ³⁾3を接続している。この場合演算装置2は上記位置指定装置11により指定された時間軸上の位置に相当する日付と記憶装置3内の資料との照合を行なう照合部21を有している。また演算装置2には資料²⁾を表示する例えばCRTディスプレイからなる表示装置4を接続している。この表示装置4は時間軸を表示するための時間軸表示部41を有している。

次に、その作用を説明する。

まず、一例として10月1日時点で標題を忘れてしまった9月初旬頃の資料を検索する場合を考える。

この場合、検索する資料は2～3ヶ月以内のものであるから入力装置1にて表示装置4の時間軸表示部41に第2図(a)に示すように7月中旬から現在までを表わす時間軸の表示を指示する。この時点で記憶装置3は資料のうち第2図(a)に表示されている時間軸つまり7月中旬から現在までに登録されたものがアクセスされ易いように例えばソートされるなりポイントの移動が行なわれている。

移動し変更指示装置12にて例えば時間軸を遡らせる旨を指示するキーを押す。すると、第3図(a)に示すように時間軸表示部41には例えば5月初めから7月初旬までの時間軸が表示される。そして、これ以後の資料検索は上述と同様にして行なう。またこれよりさらに過去の資料を検索したい場合は変更指示装置12のキーを続けて操作すればよい。

一方、長期間での検索を行ないたい場合は変更指示装置12にて例えば時間軸を拡大する旨を指示するキーを押すと、第3図(b)に示すように例えば5月から9月までの時間軸を表示することができる。逆により短時間での詳細な検索も可能である。

なお、この実施例においては資料登録時に自動的に記憶される登録年月日を利用して検索を行なっているが、登録者が発行年月日を入力するか、あるいはOCRなどで資料上の発行年月日を読み取る処理がなされていれば発行年月日により資料検索をすることも可能である。

したがって、このような構成によれば記憶している情報があいまいであってもおおよその日付のみにて所望の資料を検索することができるので、従来資料に関する情報を正確に把握しておかなければ資料の検索が難しかったものに比べ所望資料の検索を簡単な手間で速みやかに行なうことができる。

〔発明の他の実施例〕

この発明は上記実施例にのみ限定されず要旨を変更しない範囲で適宜変形して実施できる。例えば上述の実施例以外にも文献検索などの大規模データベースの検索に応用すればユーザは質問言葉を学習することなく検索可能であり、あるいはタッチセンサを表示装置に組み込み指により直接時間軸を指示することもできる。

4. 図面の簡単な説明

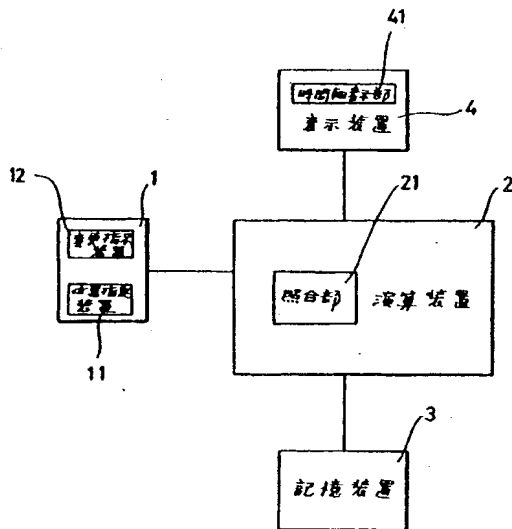
第1図はこの発明の一実施例を示すブロック図、第2図(a)(b)および第3図(a)(b)は夫々同実施例に用いられる表示装置の表示例を示す図である。

1…入力装置 11…位置指定装置

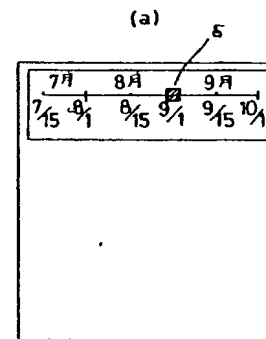
12…変更指示装置 2…演算装置
21…照合装置 3…記憶装置
4…表示装置 41…時間軸表示部
5…カーソル

出願人 東京芝浦電気株式会社 小宮 幸
代理人 弁理士 小 宮 幸 一 幸 士

第1図



第2図



(b)

7月			8月			9月		
7/15	8/1	8/15	8/15	9/1	9/15	9/15	10/1	

課題	登録月	実行者
○○○××	8月31日	○×部
××△△	9月1日	××部
△△△△	9月3日	××部
○○○××	9月5日	△○部
×××××	9月6日	○×部
×××××	9月9日	××部
△△○○○	9月10日	△○部
×△○×△	9月10日	△△△
○×○×○	9月12日	×××

第 3 圖

(a)

5月	6月	7月
5/1 5/15 6/1 6/15 7/1 7/15		

(b)

5月	6月	7月	8月	9月
5/1 6/1 7/1 8/1 9/1 10/1				